

医療・生活支援のための予算について

医療・生活支援のための経費は、その性質上、国の制度改革（児童手当、障害者自立支援給付費など）や社会経済状況の影響（生活保護費など）を大きく受けるものです。

少子高齢化の進展により社会保障関連経費の増加が見込まれるため、今後も医療・生活支援のための予算は増加傾向であると予測しています。



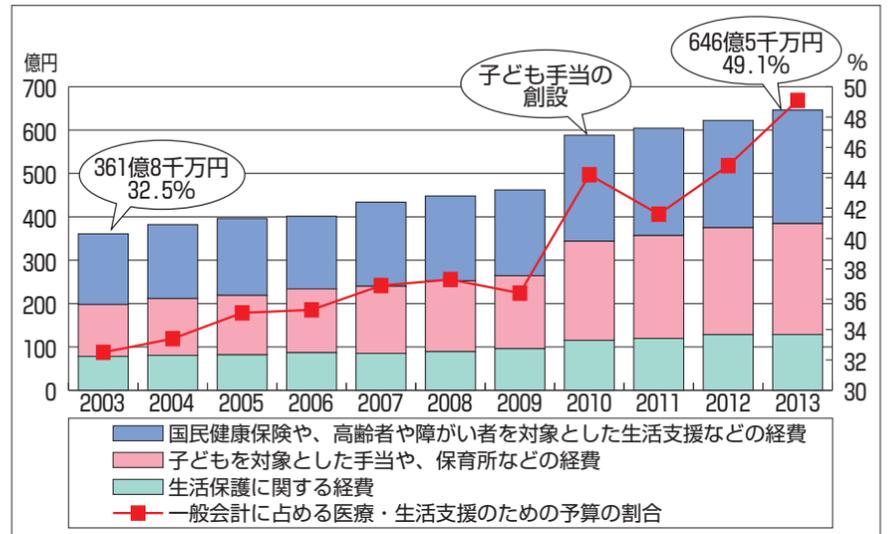
予算特集号1面の目的別歳出予算の円グラフを見ると、医療・生活支援のための予算がほぼ半分を占めています。医療・生活支援のための予算の内訳や推移を教えてください。

2013年度の医療・生活支援のための予算は646億5千万円で、一般会計予算の49.1%を占めています。

そのうち、国民健康保険や、高齢者や障がい者を対象とした生活支援などの経費が261億8千万円、子どもを対象とした手当や、保育所などの経費が255億7千万円、生活保護に関する経費が128億6千万円となっています。



10年前の一般会計に占める医療・生活支援のための決算額の割合は、32.5%でした。2003年度の決算額と2013年度予算額を比較すると、284億7千万円増加（1.8倍）しています。



※2003～2011年度は決算額、2012年度は補正後予算額、2013年度は当初予算額

市民一人あたりの予算のつかいみち

2013年度一般会計予算額を、2013年1月1日現在の町田市の人口（425,762人）で割って算出しました。



市民一人あたりの予算額309,209円のうち、市税でどのくらい負担しているのですか？

市民一人あたりの予算額に対する市税負担額は156,639円で、ほぼ半分を占めています。残りの半分は、国・都支出金（国や東京都から交付される補助金など）90,905円や、市債（借金）13,268円、基金（貯金）の取崩し11,522円などによってまかなわれています。



市民一人あたり
予算額
309,209円

市政の
運営のため
38,726円

子どもや障がい者
高齢者などの
医療・生活支援のため
151,854円

市民の健康や
よりよい
生活環境のため
28,810円

消防・防災
のため
12,755円

市債の
返済のため
14,423円

その他
5,322円

※円の大きさが市民一人あたりの予算額の大きさを表しています。

まちだの台所事情

— 貯金(基金積立金)と借金(市債)はどれくらいあるの? —

基金積立金(貯金)の状況

基金積立金は、家計にたとえると貯金にあたるものです。

「財政調整基金」では、災害復旧など臨時の支出や経済事情の変動などで収入（歳入）が足りない時に取り崩し、逆にお金が余った時には、貯金（積立）して年度間の財源を調整しています。

区分	2012年度末 現在高見込額	2013年度中増減見込額		2013年度末 現在高見込額 (注)
		当初予算 積立見込額	当初予算 取崩見込額	
財政調整基金	64億9,660万円	38万円	37億9,734万円	26億9,963万円
その他特定目的基金	61億3,445万円	9億1,942万円	14億840万円	56億4,547万円
合計	126億3,105万円	9億1,979万円	52億574万円	83億4,511万円

「その他特定目的基金」は、あらかじめ使いみちを決めて積み立てや取り崩しをする基金で、公共施設整備等基金、福祉基金、緑地保全基金、職員退職手当基金、介護保険給付費準備基金、廃棄物減量再資源化等推進整備基金があります。

(注) 今後、2012年度の剰余金などを積み立てていくことで、現在高を確保していきます。

市民一人あたりに換算すると…

※人口：425,762人（2013年1月1日現在）

貯金の残高
(2013年度末見込)

19,600円

ローンの残高
(2013年度末見込)

323,566円



市債の残高が、2013年度末で1,378億円もあるなんて、町田市の借金は多くないですか？

一般会計の市債について、市民一人あたりの残高を多摩26市と比較すると、少ないほうから6番目の金額です。一般会計の市債は、市税をもとに返済していきます。



下水道事業と病院事業を合わせた特別会計の660億円については、公立病院や下水道の整備状況が市によって異なるので、単純比較は難しいです。特別会計の市債は、医療収益や下水道使用料をもとに返済していきます。

市債(借金)の状況

市債とは、家計にたとえるとローンにあたるものです。

公共施設などをつくるために必要となる多額の資金を「長期ローン」として借り、将来利用する市民との費用負担を公平にしています。ただし、借金であることに変わりはないので、借り入れには十分気をつけています。

会計区分	2012年度末 現在高見込額	2013年度中増減見込額		2013年度末 現在高見込額
		起債見込額	元金償還見込額	
一般会計	712億4,468万円	56億4,910万円	50億9,286万円	718億92万円
下水道事業会計	519億5,026万円	25億1,360万円	24億5,681万円	520億705万円
病院事業会計	147億3,712万円	-	7億8,302万円	139億5,410万円
合計	1,379億3,206万円	81億6,270万円	83億3,269万円	1,377億6,208万円

市債現在高の推移

